

# 6年1組 道徳科学習指導案

日時 平成30年10月26日 第5校時  
場所 小島小学校 6年1組教室

## 1 主題構成表

主題名 心の中で生き続ける命

資料名 いのちのメッセージ

### ■内容項目 D- (19)

生命が多く<sup>いのち</sup>の生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。

### ■内容項目から見た児童の実態（意識）

- ・教室で飼っている生き物を大事にし、世話がよくできる。テレビやインターネットから情報を得て、様々な事件や事故によって、尊い命が失われることに対する関心が高い子が多い。
- ・命が大切であることは分かっているが、実際の子どもたちの会話の中には、簡単に「殺す」「死ね」といった言葉が出てしまったり、人を傷つける行為をしてしまったりする。

### ■要因

- ・命の大切さへの理解が十分でなく、他の生き物と同じような感覚で、軽くとらえている。命の連続性や失われた命は二度と戻らないという命の有限性を、自分のこととしてとらえていない。

### ■価値の分析

- ・「心の中で生き続ける命」とは、たとえ肉体は失ったとしても、残された人の心の中に生き続ける命があるということ。その点において、命には「連続性」があるといえる。
- ・高学年では、個々の生命が互いを尊重し、つながりの中にあるすばらしさを考え、生命のかけがえのなさについて理解を深めるとともに、生命に対する畏敬の念を育てることが大切である。
- ・この時期の児童は、多くの人々と精神的につながりをもてるようになる。また、家族との間には、支え合う関係も築けるようになってくる。しかし、思春期となり、家族に対して反抗的な態度を取り始める時期でもある。このような時期に、改めて家族とのつながりの中で育まれてきた命について考え、「生命はかけがえのないものである」ことを自分の体験や身近な情報を重ねながら考えさせたい。

### ■教材（資料）の分析

- ・本資料は、最愛の息子を亡くした鈴木さんが、悲しみを乗り越え、息子の思いを受け継いで、命の尊さを伝えながら生きようとする姿が描かれている。最後に鈴木さんから子どもたちに向けたメッセージから、自分の命を輝かせて生きることについて深く考えることができる資料である。
- ・まず、「生命のメッセージ展」を始めた鈴木さんの思いを考えるを通して、息子を亡くした悲しみを乗り越えようとする前向きな生き方に気付くことができる。
- ・最後に、鈴木さんから子どもたちへのメッセージ「あなたの命を精いっぱいかがやかせてほしいのです。」から、「命をかがやかせる」とはどういうことなのかを考えさせることを通して、家族とのつながりの中にあるかけがえのない命について、理解を深めることができる。

### ■ねらい

大切な命を失った悲しみと共に、残された人の心の中に生き続ける命があることに気づき、自分の命を輝かせて生きることについて考えることを通して、限りある命を懸命に生きようとする心情を育てる。

### ■他の教育活動との関連

<よいことみつけ> 目標に向かって精一杯努力し、命を輝かせている仲間を見つけて紹介し、心の花にして掲示していく。

#### ■事前

- ・日常的に、朝の会や帰りの会で交通事故や地震・豪雨災害などのニュースなどを取り上げ、命について話した。

#### ■本時

道徳  
いのち  
「生命のメッセージ」

#### ■事後

- ・朝の会や帰りの会で、命を輝かせている人を見つけ、心の花の掲示に位置付ける。

2 本時の展開

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助 *人権教育の観点
導入	<p>1 「生命のメッセージ展」と鈴木共子さんについて知る。</p> <p>○「生命のメッセージ展」という展覧会を知っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死んでしまっただけでかわいそう。</li> <li>・残された家族もつらいと思う。</li> <li>・どんな思いでオブジェをつくったのかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生命のメッセージ展」を開いた鈴木共子さんについて説明する。</li> <li>・「生命」「残された家族の思い」について、考える方向付けをする。</li> </ul>
展開前段	<p>2 資料を読み、鈴木さんの行動や思いから、かけがえのない命について考える。</p> <p>○感想を發表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鈴木さんは、息子さんと同じ大学へ進学してすごい。</li> <li>・自分の命を大切にしたい。</li> <li>・息子さんを亡くしてつらいのに、「生命のメッセージ展」を企画したのはなぜなのか考えたい。</li> </ul> <p>○息子さんを亡くした時、鈴木さんはどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ息子が死ななければならなかったのか。</li> <li>・息子の命を奪った犯人が憎い。絶対に許せない。</li> <li>・最愛の息子を亡くした。自分も死にたい。</li> </ul> <p>○どんな思いから鈴木さんは、「生命のメッセージ展」を始めたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・息子さんの死を忘れないように。</li> <li>・交通事故などで、命を亡くしてしまうようなことが起こらないように、命を大切にしたいから。</li> <li>・交通事故の被害の事実を世間に伝えたいから。</li> <li>・同じ悲しみをもつ人たちと共に、悲しみを乗り越えたいから。</li> </ul> <p>◎「命をかがやかせる」とは、どういうことなのでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の命を大切に、一生懸命生きるということ。</li> </ul> <p>☆グループ交流を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・命を大切に生きていくということ。</li> <li>・夢や目標に向かって、精一杯努力することが命を輝かせることにつながる。</li> <li>・辛いことや悲しいことがあっても前向きに生きていくこと。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>深めの発問</p> <p>○鈴木さんは、なぜ命をかがやかせてほしいと思っているのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の命は、自分だけのものではないから。</li> <li>・自分の命を大切にすることが、次の命につながるから。</li> <li>・自分もいつ死ぬか分からない。だから今を精一杯生きてほしいと思っているから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・範読の際に、鈴木さんの気持ちについて「わかる」「すごい」「どうして」という視点で線を引くよう指示し、感想につなげる。</li> <li>・①息子を亡くした鈴木さんの気持ち ②「生命のメッセージ展」を企画したことに関わる感想を取り上げ、発問につなげる。</li> <li>・鈴木さんの「血をはくような苦しい思い」を想像させることで、残された者の辛さや命の重さに気付かせる。</li> <li>・「なくなった命と、改めて向き合わなくちゃいけないというのは、非常につらい作業」と言っている鈴木さんの言葉を取り上げ、補助発問をすることで、息子を亡くした悲しみを乗り越えようとする鈴木さんの、前向きな生き方に気付かせる。</li> <li>・命の「関係性」や残された者の中に生き続ける命（命の「連続性」）があることを板書に位置付け、おさえる。</li> <li>・鈴木さんのメッセージを読み、「命をかがやかせる」ことについて考えることで、命の「関係性」とも関連づける。</li> <li>・グループ交流での仲間の考えを受けて、自分の考えをワークシートに記入させる。</li> </ul> <p>*授業の展開前段において、「命をかがやかせる」ことについてグループ交流を行う。このことにより、生命が人とのつながりの中にあることを理解し、受け継がれてきたかけがえのない命だからこそ、今の自分が、精一杯命を輝かせて生きていくことの大切さに気付かせたい。そのことによって、生活を振り返り、自己の心の中にある偏見や差別的なものの見方や考え方を改めようとする力を身に付けさせたい。 (自己啓発力)</p>
展開後段	<p>3 自己を見つめ、振り返る。</p> <p>○今日の学習を通して、考えたことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の目標に向かって一生懸命努力して、命を輝かせたい。</li> <li>・かけがえのない命を大切に、学校でも色々な行事で自分にできることを全力で取り組んでいきたい。</li> <li>・今までも、命は大切だと分かっていたけど、生きてくても生きられなかった人がたくさんいること、その家族の思いも分かったので、自分も夢の実現に向けて努力していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の学習を通して、命について考えたことをまとめるよう指示する。</li> </ul>
終末	<p>4 鈴木さんからのメッセージを動画で視聴する。</p>	

